西日本サイディング・News
2024年(令和6年)11月30日(第206号)

発行
西日本サイディング事業協同組合
事務局
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-10-28 NKビル(旧下村ビル)6F
TEL 06-6121-7302
FAX 06-6121-7303
URL:https://www.siding.jp/west/

時間外労働上限規制のハードル高く、67%の現場でルール抵触

働き方改革推進により、建設業でも2024年4月から時間外労働の上限規制が適用されている。2019年4月の改正労働基準法施行から5年の猶予期間を経て、業界ではルールに適応すべく超過労働の改善に努めてきたが、「週休二日」「残業規制」「人手確保」を同時に実現するための現場の苦悩が浮き彫りになっている。

時間外労働上限規制の概要

時間外労働の上限規制については、本誌2023年3月号(196号)で、「どうする?! 建設業の『2024年問題』」と題して取り上げた。組合員各位にとっては既知の通り、今年4月以降、時間外労働の上限は原則月45時間・年360時間となり、臨時的な特別事情がなければこれを超えることができなくなった。

臨時的な特別事情があり、労使が合意する場合(特別条項)でも、年720時間以内／時間外労働と休日労働の合計が月100時間未満／時間外労働と休日労働の合計について、2～6カ月平均が全て1カ月当たり80時間以内／月45時間超の時間外労働が可能な限度は年6カ月となっており、違反時には罰則が科されるおそれがある。

前回の196号記事では約8割の中小建設業者が上限規制に「対応できていない」という調査も併せて紹介した。現在、現場の実情はどのようなものなのか。

土日閉所状況は改善するも、上限規制の原則ルールに抵触する状況

日本建設業連合会(日建連)の調査によると、多くの現場で時間外労働削減に苦慮していることがうかがえた。同会は国土交通省との意見交換会(2024年5月)で、2023年11～12月にかけて会員対象に実施したアンケート結果を示し、全建設現場の67%が時間外労働の原則ルールを守れておらず、26%が36(サブロク)協定(※P3用語辞典参照)による特別条項にも抵触していると報告した(図)。

一方で、土日閉所を基本とした4週8閉所(完全週休二日)以上の達成現場は前年の33%から50%に増加し、この部分に関しては大きな改善が見られた。

しかしながら、現場の土日閉所が増加しているにもかかわらず67%の建設現場で原則ルールを超過していることは重く見なければならない。

問題解決には必要受発注者の連携が不可欠

建設現場に従事する技術者は、現場での施工管理に加え、事務所での書類作成や次工程の段取りなど、多岐にわたる業務に追われており、週休二日を取得しても時間外労働をルール内に収めることが困難な状況であることが分かる。

日建連は、時間外労働上限規制を順守するためには多くの課題があるとし、建設業者が発注者に望む対応として、以下のような内容を提示し、発注者側へも働きかけが必要であるとした。

- DX推進による現場生産性の向上および施工管理業務の効率化
- 時間外労働削減も考慮した適正な工期の設定
- 施工管理に必要な人員等の増加
- 書類の削減・簡素化

このように、時間外労働削減は受発注者が連携して取り組む必要がある。サイディング工事業界でもDX推進による効率化などが注目されているので、前回の2024年9月号(205号)の省力化投資補助金の記事も改めて確認していただきたい。

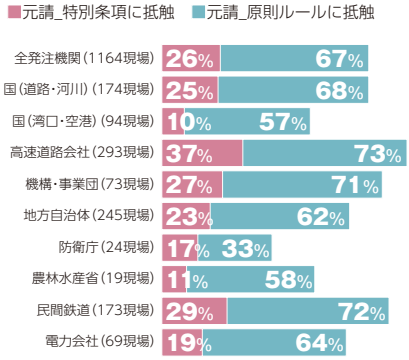


図　時間外労働上限規制の順守状況(原則ルール、36協定による特別条項)(日本建設業連合会資料から)

KMEW ケイミュー

リアルな木目にぬくもりを感じる外壁材
セフィロウッド　グラデーション塗装

まるでオイルステイン仕上げの天然木を再現したような風合いは、木目模様の凹凸に陰影をつける独自のグラデーション塗装がなせる技。外壁の美しさを守るのは色あせにくく、セルフクリーニング機能を備えたコーティング。メンテナンスを気にせず木質感豊かな邸宅を手にできる喜び。憧れの暮らしが、きっと叶えられます。

ひたむきに、屋根、壁、雨といのこと。
ケイミュー株式会社
■大阪営業所 〒540-6013 大阪市中央区城見1丁目2番27号 クリスタルタワー13F
■神戸営業所 〒650-0031 神戸市中央区東町126 神戸シルクセンタービル8F
■京滋営業所 〒601-8127 京都市南区上鳥羽北花名町34番地

組合員インタビュー

「待たせない工事」をモットーに四国一円に展開

技能実習生を活用した職人層の厚さが強み

今回は新入会員の(株)富士建・藤本社長にインタビューにお答えいただいた。香川県丸亀市に本社を置く富士建は、専属職人約80名を擁し、四国一円の外装工事を手広く手掛けている。一人親方を経て20代後半で会社をスタートしてから、来年6月で25周年。外国人も含んだ職人集団を武器に、「待たせない、スピーディな工事」をモットーに競争力を向上させてきた。

株式会社富士建　代表取締役　藤本孝氏

会社設立までの経緯をお教えください。

十代からこの世界に入り、二十歳頃には一人親方として独立しているので、職人としても事業者としてもキャリアは長いですね。当時は5、6人の職人を動かして、工事だけを請け負う"手間請け"だけを行っていたのですが、阪神・淡路大震災を境に受注量が激減してしまいました。流通が打撃を受けて工場から材料が来ない状況になっていたためです。ただでさえバブル崩壊の不景気で仕事が減っていたので、それはもうつらい時期でした。その窮地を打開するためには、手間請けではなく材工(材料仕入れと工事を共に行う)で自ら元請けとなるべきだと考え、法人化に踏み切りました。それが2000(平成12)年のことで、28歳でした。

どのように事業経営を行ってきましたか？

何しろ職人だけの会社なので、私は営業や現場管理など全体を見ながら、妻と共に事務関係も全てこなしていました。仕事の大半は飛び込みの新規開拓。本当に大変でしたが、仕事がなかった頃の苦しさを思い、「とにかく自分が動かんと」の気持ちで突っ走ったのです。おかげさまで現在は香川、徳島、高知に営業所を置き、専属の職人約80名で四国全体をカバーするまでに成長しています。大変うれしいことに、四男一女の5人の子どものうち息子4人全員が当社で事業を引っ張ってくれています。

約25年継続してこられた理由や背景は？

まず一番強調したいのが、妻の支えで会社をここまでもってこられたこと。見積もり・請求はじめあらゆる事務関連業務を一手に担い、二人三脚で歩んでくれたことは、本当に感謝しかありません。

当社が仕事をする上で重視しているのが、お客さまに工事を待たせないことです。受注したはいいものの、『工事が立て込んでいて今忙しい』、などの理由でいつまでも現場に入れない、あるいは工事が進まないといった事態は絶対に避けねばなりません。実は香川は、小さな県ながら同業の外装工事業者が非常に多く、競争が激しいんです。そんな中、当社の『待たせない、スピーディな工事』が強みとなってお客様に選んでいただけていると思っています。

「待たせない工事」を支えているのは？

スピーディな工事を可能にしているのは、職人の層の厚さでしょう。われわれの業界で長らく懸念され続けている職人の高齢化については私も早い段階で問題視しており、15年前からベトナムの技能実習生を雇用しています。将来を見据えての取り組みですが、サイディング工事業界ではかなり早い部類だと思います。

毎年3人ずつ採用していたのが、延長を申し出たり残留を決めたりする実習生が増えて、今では職人80人中約30人が外国人です。みんな「ずっとここで働かせてほしい」と言い、望んで残ってくれます。彼らがスピーディな工事の実現を後押ししているのは間違いありません。

実習生からそこまでの信頼が寄せられるのには何か理由がある？

私が実際にベトナムに行って面談し、家族にも会って丁寧な関係づくりに努めているからだと思います。やはり現地まで行くと親御さんは大変喜んでくれますし、安心して送り出してくれます。私自身も一層責任感が生まれ、大事に育成していかねば、という気持ちが強まりますね。今や彼らは日本で運転免許を取得して自分で運転して現場まで行きますし、家族を持つ者もいます。

今後のサイディング工事業界をどう見ますか？

同業他社を見ていると、受注はある程度確保できても、職人が足りなくて困っているところが多い。私も職人だったのでよく分かるのですが、体が資本なのでどうしても高齢になると無理がたたって体が言うことを聞かなくなるのです。業界全体が一致団結して若者を引き込んでこられるような取り組みができないものかと常々考えておりますが、当組合のような組織こそがその役割を果たしていくべきですね。若い世代が活躍し、技術を次の世代や外国人にどんどん継承していけるような業界になっていってほしいと思います。

TOPIX

CCUS促進コース創設など、厚労省が建設業の人材確保・育成を強化

建設業では技能者のうち60歳以上の割合が約4分の1を占め、29歳以下は全体の約12%にとどまる。厚生労働省は担い手確保のため、9月2日、2025年度の予算概算要求のうち、建設業の人材確保・育成に向けた取り組みを発表した。①人材確保、②人材育成、③魅力ある職場づくりの3本柱を据え、国土交通省と連携してCCUS（建設キャリアアップシステム）普及促進に向けた取り組みを進めるというのが予算で示された概要である。

①人材確保

人材確保では事業主への助成金による支援を行い、雇用管理改善や人材育成に取り組む中小事業主に対して経費や賃金の一部を助成。またCCUS等促進コース（仮称）の創設による雇用管理改善の推進などもある。

②人材育成

人材育成では中小事業主等への支援、建設分野の職業訓練の実施、ものづくりマイスター制度による若年技能者への実技指導など。

③魅力ある職場づくり

魅力ある職場づくりでは、働き方改革等による建設業の魅力向上、一人親方の安全衛生対策支援などがある。

CCUS登録技能者は8月末時点で150万人を突破、開始当初からの就業履歴は累計約1億5,000万人となった。国交省では11月末に登録技能者向けのスマホ用アプリ「建キャリ」をリリース予定で、CCUS利用拡大のさらなる強化を進めている。

実は知らない!?
用語辞典
Vol.16

労働者の健康・福祉を確保するため法定労働時間を超える労働における取り決め
「36（サブロク）協定」

36（サブロク）協定の正式名称は「時間外・休日労働に関する協定書」といい、労働基準法第36条第1項に定められた労使協定を指す。原則として1日8時間、1週40時間と定めた労働基準法における上限を「法定労働時間」と呼ぶが、その法定労働時間を超えて労働を命じる場合に必要な取り決めである。この際、36協定を締結した上で所轄労働基準監督署長への届出が必要となる。

2019年4月から、36協定の定める時間外労働に罰則付きの上限が設けられた（それまでは行政指導のみ）。P1で解説したように、原則ルールと特別条項（例外のルール）があるが、特別条項付き36協定の上限をさらに超えた場合は労働基準法違反となる。

今日つれづれ

神戸　睦史〈ハウゼコ〉

今年も残すところあとひと月となりました。2024年を振り返りますと、私たち住宅関連産業に携わるものとして一番印象的だったことは、能登半島地震ではなかったでしょうか。改めて、犠牲になられた方に謹んで哀悼の意を表します。

この震災では耐震化率が低いことが災いし、数多くの建物が倒壊しました。私の知人にもこの地域に住んでおられた方がいましたが、結局は故郷を離れる決断をしなければいけない状況になりました。

来年には、4号特例の廃止と断熱義務化の2つの大きな改革が予定されております。災害列島日本に住む者として、安全安心で快適な住まいづくりができる社会が1日でも早く実現できることを願ってやみません。

弊社が携わっている屋根換気や壁通気は、これらの改革にも大きく関わってまいります。というのも、初期の耐震性能をいかに長く維持できるか、を考えることこそ真の意味での安全安心で快適な住まいづくりだと考えるからです。

一生に一度の決断をして購入された住まいが、災害等でダメージを受けることが無いよう、これからもしっかりとお手伝いをしてまいりたいと存じます。

1成分形変成シリコーン系シーリング材
JSIA F☆☆☆☆認定品

最高水準の性能をバランスよく具備

高耐候性
SRシールH100
- 耐候性が格段に向上
- 色あせが少なく薄膜耐候性も向上
- 専用プライマーにより各種被着体に接着
- メンテナンスコストを削減

ノンブリードタイプ
SRシールNB50
- 1液タイプで安定した品質を実現！
- 塗料汚染を抑制
- 優れた耐久性
- 挙動追従性に優れる低モジュラスタイプ
- 硬化時の体積収縮が殆ど無い
- 専用プライマーで各種被着体に接着

豊富な色揃え
SRシールS70

約400色

【荷姿】
（H100/NB50/S70共通）
▶6ℓ缶：
作業スピードアップ
カートリッジに比べ
大幅コストダウン
実現
▶333mℓ：
カートリッジ
好評発売中

サンライズMSI株式会社
本　社：〒592-8334　大阪府堺市西区浜寺石津町中1丁4番7号　TEL 072-244-7500　FAX 072-244-8183
■営業拠点：仙台/北関東/横浜/岡崎/堺/広島/福岡　■工場：岡山/静岡
http://www.sunrisemsi.co.jp

組合だより

役員会・広報部会・情報交換会のご報告（10月）

日時　10月2日(水)15：30～17：00
場所　Ｚｏｏｍによるオンライン会議

□役員会
○中部支部独立後の役員会の進行方針について。役員以外も交えた従来形式の情報交換会をハイブリッドで再開する案を決定、12月役員会での議題提案事項とする。
○忘年会開催について。当日は全国サイディング事業協同組合連合会の決算理事会を行い、続いて当組合役員会、情報交換会、忘年会を行う。
○全国サイディング事業協同組合連合会執行部会での決定事項報告。
・技術委員会より、シーリング切れ保険についての進捗報告。
・施工店登録委員会より、広報委員会の今後の動きについて報告。立ち上げの原案を施工店登録委員会で進め、以降は同委員会が広報委員会の役割を担う。

□広報部会
・サイディングニュース11月号の内容検討
・巻頭記事は、今年4月から適用となった時間外労働上限規制の現状について。
・組合員紹介は(株)富士建(香川県)の藤本社長。
・その他トピックスなど。

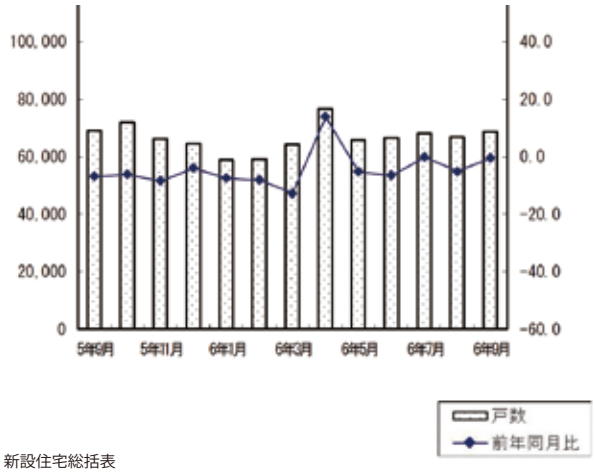
□情報交換会　各社近況報告
健康診断実施のご報告
10月18日(金)、例年通り愛悠会クリニック(門真市)にて健康診断を実施しました。

今後の予定

役員会・広報部会・情報交換会
日時12月18日(水)14：45～
場所　天王殿(天王寺区)

建築物着工統計（2024年9月の動き）

9月の新設住宅着工は、貸家が増加したが、持家、分譲住宅が減少したため，全体で前年同月比0.6%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比3.0%の増加となった。



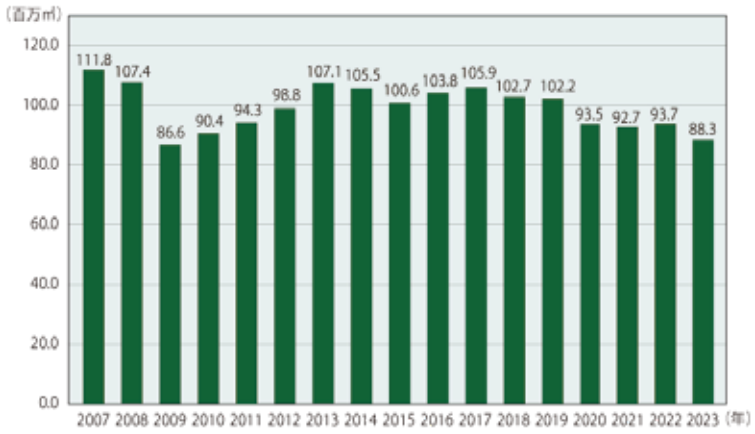
新設住宅総括表

	戸数			床面積の合計		
	戸	対前年同月比(%)	対前年増減月比(%)	㎡	対前年同月比(%)	対前年増減月比(%)
新設住宅計	68,548	2.6	△0.6	5,222	2.6	△2.3
持家	346	△19.2	△12.6	22	△15.8	△14.1
貸家	68,202	2.7	△0.5	5,201	3.7	△2.3
給与住宅	19,350	△1.3	△0.9	2,154	△1.2	△1.4
分譲住宅	31,033	7.2	4.4	1,453	9.5	2.5
一戸建て	244	△76.6	△40.9	21	△56.3	△22.6
長屋建て	17,921	4.0	△1.0	1,566	7.6	△7.3
共同住宅	32,699	1.0	△0.6	4,760	2.1	△2.2
分譲住宅	5,659	22.6	△0.1	470	20.3	△2.4
分譲住宅	322	0.0	△17.6	27	2.7	△18.4
貸家	2,102	42.7	△1.8	189	24.2	△10.7
給与住宅	0	－	－	0	－	－
その他の住宅	3,226	16.2	3.2	263	20.3	6.3
木造	40,954	3.1	1.3	3,543	2.4	△1.1
非木造	27,594	1.9	△3.2	1,680	4.4	△4.8
鉄骨造	279	△59.1	△32.6	22	△54.1	△39.4
鉄筋コンクリート造	19,025	5.6	5.6	1,087	96.5	3.6
鉄骨鉄筋コンクリート造	8,232	△1.8	△17.9	572	△5.3	△17.0
その他	27	△35.7	△25.0	2	△25.9	△28.7
	31	△6.1	93.8	3	6.4	96.5

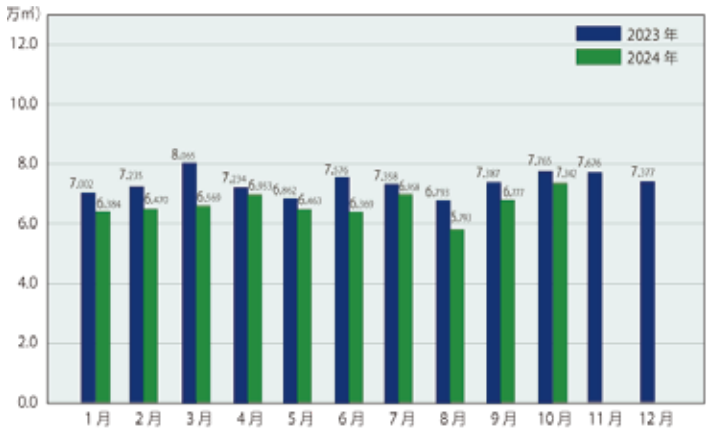
※国土交通省 建築着工統計（2024.3.31 発表）より
http://www.mlit.go.jp/report

窯業系サイディング販売量

年度別販売量



月度別販売量



日本窯業外装材協会

施工品質の最高峰をめざし感謝の気持ちで信頼に応える
サイディング工事の神保工業所

有限会社神保工業所
〒630-2342
奈良県山辺郡山添村広代651
TEL. 0743-85-0036
FAX. 0743-85-0019
E-mail：info@kanbo.jp.net